国語科　学習指導案

日　時：２００５年８月３日（木）
９：３０～
生　徒：鹿追町立鹿追中学校
２年Ａ組　２３名
授業者：　中　村　宏　喜

１．単元（題材）名

新聞を作ろう　＜書く＞
～「戦争体験手記」の記事を通して～

２．教材観

教科書教材として，戦争を扱った小説を学年に一つは扱ってきた。また，１年生の戦争教材を学習した際には，「戦争と平和」と題して，新聞スクラップをする中から要約と自分の考えを書くという授業も行ってきた。１年生ということもあり「戦争」という名前を見つけてはスクラップにするくらいのものであった。しかし，実体験はないものの，今までに見た映像体験と記事とを比較しながら，考えを膨らませる生徒もいた。

今年に入り戦後６０年を節目とすべく，各新聞社で特集が組まれている。授業では小説を通した学習だったが，違う観点から戦争を考えることも含め，記事の比較読みも行うことにした。

北海道新聞社で「戦禍の記憶」が掲載されている。戦場体験，子どもとして戦禍を体験した人々の手記などが，「すぐ声が聞こえる近さ」で伝わってくる記事が連載されている。自分でインタビューをしてその場で答えてもらっているような臨場感あふれる書き方になっている。この記事を２つ以上読むことで，色々な立場からのものの見方を感じ，それを自らの言葉として発信できる授業としたい。

３．新聞を効果的に使った授業作り

（１）新聞の学習（機能学習）

＊３時間を使い次のような授業を行った。

①新聞記事の構造（５Ｗ１Ｈ）を知ろう
②見だしの付け方を研究しよう
③体育祭の想い出を「記事」にしてみよう

（２）新聞で学習（記事を教材に）

①『僕の防空壕』（小説教材）・・・（読む）
②「戦禍の記憶」から体験記を読み取る（読む）
③「戦禍の記憶」に携わった記者の方から更に詳しい話を聞く（話す・聞く）
④今まで学習した内容から戦争と平和について考える（書く）

４．本時の学習

（１）本時の展開

	学　習　内　容	教師の支援	留　意　点
導 入	○原稿を確認する ・選んだ記事の要約 ・記事に対する自分の考え ・講話の感想など	○本時の流れを確認する。 ・新聞学習のまとめであることを確認させる	○選んだ記事は，事前に新聞原稿に貼っておく。
展 開	○グループ内で新聞記事に対する原稿の読み回しを行う。 ・「要約」「考え」の原稿を読み，コメントを書く。 ○グループ内で「編集者」の方から聞いた話についての自分の考えを発表し合う。 ○「見出し」について考察を加える。 ・記事から受けた感じなどが現れた見出しになっているかをグループで見合う。 ○帰ってきた自分の原稿をもう一度読み，訂正を加えたあと，清書を行う。	・時間を区切り，編集社の人間になったつもりで原稿に朱筆を入れる。 ○疑問に思ったこと，質問したことに対する答えを，しっかり原稿にできているかを確認させる。 ○「見出しの付け方」を想起させ，学習したことが生かされているかを再確認させる。 ・適切な言葉かも考えさせる。 ○「見出し」の書き方，丁寧な文字，時間を意識することに注意しながら清書をさせる。	・読むのが苦手な生徒は，コメントが書けなくてもよい。 上手な生徒の書いた文章を読むだけでも価値がある。 ・作業の遅い生徒には，やり方を支援する。 ・余裕のある生徒には，色つけ，文字の太さなどにも工夫をさせる
ま と め	○授業のまとめを行う。 ・自分のまとめと比較しながら，発表を聞く。 ○今後の活動について	○取り上げた記事，自分の考え，講話を聞いた感想などグループの代表に発表させる。	